

介護サービス整備の計画変更

令和7年2月

介護保険課

目次

1	介護サービス整備の計画変更について	1
2	認知症対応型共同生活介護の指定状況	1
3	認知症対応型共同生活介護の利用状況	2
4	令和7年度分の整備方針（案）	3
	（1）介護サービス見込量（定員数）	3
	（2）変更後の整備計画	4
5	スケジュール	5

1 介護サービス整備の計画変更について

令和6年度から令和8年度の介護サービスの整備については、第九次山口市介護保険事業計画に基づき整備を進めています。

この度、令和6年度中に「認知症対応型共同生活介護」が5事業所廃止（予定含む）となり、定員数が減少することから、「認知症対応型共同生活介護」の追加整備を行うことについて、本審議会の御意見をお伺いするものです。

2 認知症対応型共同生活介護の指定状況

第九次山口市介護保険事業計画で定める必要数と令和6年度末の状況は次のとおりです。計画で定める定員数より、令和6年度末で5か所定員61人の減となります。

計画 第十次山口市高齢者保健福祉計画・第九次山口市介護保険事業計画（P.79）

地域密着型サービスの計画

か所数/()は定員数(人)

区分		令和5年度末 (見込)	第九次			
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度末
(サ) 認知症対応型共同生活介護	北東部	4 (63)				4 (63)
	中央部	2 (27)				2 (27)
	鴻南	4 (70)				4 (70)
	南部	8 (117)				8 (117)
	徳地	2 (27)				2 (27)
	阿東	1 (18)				1 (18)
	合計	21 (322)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (322)



令和6年度末の見込み

地域密着型サービスの計画

か所数/()は定員数(人)

区分		令和5年度末 (見込)	第九次			
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度末
(サ) 認知症対応型共同生活介護	北東部	4 (63)	-1 (-9)			3 (54)
	中央部	2 (27)				2 (27)
	鴻南	4 (70)	-2 (-34)			2 (36)
	南部	8 (117)	-2 (-18)			6 (99)
	徳地	2 (27)				2 (27)
	阿東	1 (18)				1 (18)
	合計	21 (322)	-5 (-61)	0 (0)	0 (0)	16 (261)

3 認知症対応型共同生活介護の利用状況

認知症対応型共同生活介護の令和6年11月の利用実績では、定員322人に対し314人が入所されており、入所率は97.5%となっています。

一方で、市内において有料老人ホームが増加しており、在宅サービスを組み合わせることで認知症の方でも必要なケアが受けられることから、有料老人ホームを選ぶ利用者や家族が増えている状況があります。

今回廃止した5事業所につきましては、法人の運営方針により有料老人ホームに転換されることとなり、入所者の希望を確認したうえで、入所者全員が転換後の有料老人ホームに転所されました。

入所者には、費用面で不利益が出ないように有料老人ホームを利用できること、介護サービス面では、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、訪問介護、訪問診療などを組み合わせることで、介護サービスの提供が可能であることを法人に確認しております。

認知症対応型共同生活介護の定員数及び入所率

	令和6年 11月現在	5事業所廃止 による影響	令和7年 2月現在
定員数 (a)	322人	▲61人	261人
入所者数 (b)	314人	▲60人	254人
入所率 (b)/(a)	97.5%	-	97.3%

有料老人ホームの施設数の推移

	令和3年 11月1日現在	令和6年 11月1日現在	増減
施設数	41施設	45施設	+4施設
定員数	1,335人	1,602人	+267人

4 令和7年度分の整備方針（案）

（1）介護サービス見込量（定員数）

市としては、小規模で家庭的な生活環境のもと、低下した認知機能をサポートしながら介護サービスを受けられる「認知症対応型共同生活介護」は認知症ケアに必要なサービスであると考えています。

今回の事業所の廃止を受け、あらためて介護サービス見込量を精査し、必要な定員数を確保することとします。

介護サービス見込量設定の考え方は次のとおりです。

- ① 「介護保険施設等入所申込状況調査（令和5年度実施）」で、認知症対応型共同生活介護の待機者数87人で、そのうち在宅での待機者は31人であり、サービス利用は見込めるものと考えます。
- ② 住宅型有料老人ホーム入所者の平均介護度は2以下が多い※1ことから、介護度2以下の方は有料老人ホームを希望される可能性があることを考慮します。

※1 「令和3年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）高齢者向け住まいにおける運営形態の多様化に関する実態調査研究報告書」より

- ③ 今回減少した定員数61人のうち、認知症対応型共同生活介護の介護度3以上の待機者数の割合43%を乗じた人数が必要と考えます。

（61人×43%≒27人）

よって、認知症対応型共同生活介護の介護サービス見込量は、現在の定員数261人に27人を追加した288人とします。

認知症対応型共同生活介護の介護サービス見込量（定員数）の見直し

現計画	事業所廃止による減少（▲）	現在 令和7年2月	追加する人数 （追加整備）	合計
(a)	(b)	(c) = (a)-(b)	(d)	(c) + (d)
322人	61人	<u>261人</u>	<u>+ 27人</u>	<u>288人</u>

(2) 変更後の整備計画

介護サービス見込量の見直しにより、現計画においては27人(3ユニット)以内で追加整備(ユニット増設を含む)を行います。

また、今後の整備は、次期計画(計画期間:令和9~11年度)の見直しに合わせてサービスの需要を調査し、整備の必要性を検討することとします。

変更後の認知症対応型共同生活介護の整備計画

年度	区分	定員	圏域
令和7年度	認知症対応型共同生活介護	27人 (3ユニット)	全域
※ 27人(3ユニット)以内で追加整備を行う(既存事業所のユニット増設も含む)			

地域密着型サービスの計画【変更後】

か所数/()は定員数(人)

区分		令和5年度末 (見込)	第九次			
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度末
(サ) 認知症対応型共同生活介護	北東部	4 (63)	-1 (-9)	1 (27)		4 (81)
	中央部	2 (27)				2 (27)
	鴻南	4 (70)	-2 (-34)			2 (36)
	南部	8 (117)	-2 (-18)			6 (99)
	徳地	2 (27)				2 (27)
	阿東	1 (18)				1 (18)
	合計	21 (322)	-5 (-61)		1 (27)	0 (0)

5 スケジュール

予定事業者決定までのスケジュールは次のとおりです。

3月 地域密着型サービス事業者の公募

↓

4月 高齢者福祉施設等選考委員会

↓

5月 地域密着型サービス運営協議会（意見聴取）

↓

6月 予定事業者の決定